

初秋

山麓を走りながら汽車は思った  
俺は蛇のやうだ  
車窓からうねうねした川を見ながら  
旅人は思った  
川は蛇のやうだ 俺は誰だらう  
全線三時間のローカルをこの汽車は二時間遅れてゐる  
日が山にかくれてしまつて  
三角形の山の影が黒くそびえ  
風が急につめたくなつた  
山の斜面には葛の葉がひるがへつてゐた  
白い葉裏が  
残酷にむしられてでもゐるやうにちらついた  
旅人は側の妻をふりかへつた  
妻はやさしくほほゑんだ  
旅人は思った  
川は蛇のやうだ 俺は幸福だ  
山麓を走りながら汽車はつぶやいた  
いよいよトンネルだ